

利根町小学校統合に関する意見交換会（概要）

1. 日 時 令和2年7月5日（日）午後2時00分～午後3時36分

2. 場 所 布川小学校 体育館

3. 出席者

（1）町民等参加者 13名

（2）利根町教育委員会

| | | | |
|---------|-------|---------|--------|
| 教 育 長 | 海老澤 勤 | 教 育 委 員 | 佐藤 忠信 |
| 学校教育課長 | 青木 正道 | 指 導 室 長 | 池田 恭 |
| 課 長 補 佐 | 河村 明 | 課 長 補 佐 | 宮本 正裕 |
| 課 長 補 佐 | 布袋 哲朗 | 主 任 | 吉田 慎太郎 |

4. 次 第

（1）開 会

（2）教育長挨拶

（3）意見交換

ア 利根町小学校統合基本方針説明

イ 質疑・応答等

ウ その他

（4）閉 会

5. 議 事

1. 開 会

○事務局 ただいまより、利根町小学校統合意見交換会を開会いたします。

2. 教育長挨拶

○教育長 お休みの午後、ご出席いただきありがとうございます。教育長の海老澤と申します。

現在、利根町では少子化に伴い、町内小学校3校を1校に統合する計画を進めております。これは、少子化による児童数減

少により発生するであろう様々な課題に対応するために適正規模の学校づくりを進めていこうとするものでございます。

利根町では、2年前の平成30年1月に「利根町小中学校適正配置等調査検討委員会」を立ち上げまして、9回の話し合いをし、その年の10月に委員会の答申をいただきました。その答申では、令和5年度4月を目途に、町内小学校3校を布川小学校に統合するとしての基本方針を提言していただきました。

教育委員会では、その後、アンケートを実施して、675名から返答をいただき、その結果をまとめてございます。また、複数回の教育委員会、佐々木町長を含めた町長部局との協議の場である総合教育会議という会議がございますが、これを複数回開催し、さらに、約1か月間のパブリックコメントで皆様のご意見を募集してまいりまして、小学校統合基本方針の修正を行っております。また、町の議員さん全員参加による説明会もございました。

このように、アンケート結果、パブリックコメント、総合教育会議などの経緯から、ほぼ検討委員会答申を尊重するに至った次第です。

その後、令和2年3月に「小学校統合基本方針」がまとめられ、公表するに至った次第であります。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、2か月ほど予定がずれて、今日、統合に関する意見交換会を始めることができました。今後、各小学校区において、保護者さん、地域の方々にご理解をいただき、これからの小学校統合計画を進めていきたいということで、この会を設けさせていただきました。

学校の存在は、子ども達、保護者だけの問題ではなく、地域全体での大きな問題でもございます。是非、関心を持っていただいて、保護者、住民の方々のご意見をできる限り取り入れられればと考えております。説明の後、質疑の時間もございます。忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

3. 出席者紹介

○事務局　ここで、本日出席しています教育委員及び町職員を紹介します。（教育委員及び町職員の紹介あり）

4. 基本方針説明

○事務局 本日の議事では、まず、「利根町小学校統合基本方針」をご説明いたします。説明後に質疑・応答、また意見交換を行います。統合校となる小学校施設がより良い学校環境を確保できるよう、ご参加の保護者の皆様、地域の皆様からご意見等を広く収集することで統合に向けての課題を把握し、整備充実に図ってまいりたいと考えております。

それではこれより、次第3、意見交換等に入ります。

(事務局より「小学校統合基本方針」について説明あり)

5. 質疑・応答及び意見交換

○事務局 説明が終わりました。ただいまの利根町小学校統合基本方針の説明、また、この他ご質問等がある方は、挙手をお願いいたします。(主な質問と回答及び意見に絞り掲載、また、類似の質問は集約して掲載。)

○参加者 熊本では稀に見る洪水等の災害が起きているが、布川小学校に統合されるとなると、町のハザードマップでは危険な地域の中に指定されており、今後の引き渡し訓練等で子どもを迎えに来た時に、文地区及び文間地区から浸水等の道路状況で通行ルートが限られてくることが想定されるが、安全面の確保はされているのか。

○事務局 統合小学校を布川小学校とした時に、最も考えなくてはならないのが、子ども達の安全・安心でございました。

利根川がすぐ近くを流れておりますが、昨年、利根川の水位がかなり上昇しました。あれほど水が増えるというのは、そうはありません。押付新田の観測所では7メートル59センチという水位を示しました。

過去10年間で、警戒レベル3相当とされている5.75メートルを超えたことが3回ございました。警戒レベル3というと、高齢者や障がいのお持ちの方は避難してくださいというレベルでございますが、警戒レベル4となると、町の全員が避難ということになります。警戒レベル4相当の水位、避難判断水位というのが7メートル70センチとなっておりますので、昨年の水位にあと11センチ超すと、利根町は全員避難の指示が

出たところでございます。ここ5年の中で実際に警戒レベル3以上が発生していますので、今後、いつ洪水が起こらないとも限らない状況です。そんな中で、布川小学校に統合して大丈夫なのかと心配になるかと思えます。

町のハザードマップを見ると、布川小学校周辺の浸水想定は3メートル未満を想定しています。これは、小貝川のはん^{らん}濫でも、利根川のはん^{らん}濫でも同じです。

布川小学校は周辺より一段高いところに建っており、一階の教室の天井の高さはグラウンドから見て約5.8メートルとなっておりますので、想定する3メートルの水位となったとしても、2階以上に避難すれば、子ども達の安心安全は保たれます。

想定外のことが起こるから災害と言われればその通りでございますが、洪水は地震のようにいつ何時起こるかわからないということでもありません。群馬から茨城まで、上流の観測所の水位が10分毎に確認できますので、こちらを注視して、学校としては警戒レベル3を超えるような予想であれば、早め早めの避難、あるいは、それが間に合わない場合は垂直避難を想定しております。

また、ハザードマップには液状化マップもございしますが、布川小学校周辺も液状化の激しい地区とされておりますので、大きな地震があれば、当然、液状化の恐れがあります。子ども達の安全安心において最も大事なのは子ども達の命ですから、液状化が発生した場合は、まずは垂直避難とし、液状化の状況が改善されるまでは、保護者の方への引き渡しはできません。道路の状況が改善され、安全に迎えに来れるということであれば、そこで引き渡す、ということになります。

ただ、子ども達が長期に渡り学校を避難所として生活するためには、水や食料、寒い時期であれば毛布等が必要になります。あるいは、発電機等の機械を整備できるのかということや、どれだけ町当局と話し合っ整備できるのか、そういったことも考えながら、子ども達の安全・安心について考えていきたいと思えます。

○参加者 今回の統合するという基本方針は、もう決まっているとのことだが、このコロナ禍において、教育委員会も一度立ち止まって考えるべきではないのか。現在、分散登校などを実施したり、少人数での授業が行われることが大切であり、今すぐ3校を1

校に統合する必要があるのか。

また、クラス替えが出来ないということがとてもまずいことのように書かれているが、果たしてクラス替えをしないことがそんなに問題なのか、それよりも、少人数で丁寧なきめの細かい学習をしていくことの方が大事ではないのか。

もし大勢の子どもとの関わりが必要であるならば、それこそ3つの学校が一緒になって運動会等のイベントを行えば良いのではないか。

○事務局 大変貴重なご意見ありがとうございます。

子ども達は、約3か月学校に來れない状況だったのですが、現在は夏休みと冬休みの短縮、そして保護者の皆様のご協力のもと、学校を再開している状況でございます。学習面においても、今のところ次年度に学習内容を送らせるといったことなく進めていける方向でございます。

ただ、今後も新型コロナウイルス感染の第2波なども心配されますので、十分に配慮しながらやっていきたいと考えております。また、密にならないように、教室なども窓を開放しながら、手洗いなども十分しながら進めております。

学級の人数に関しては、国の基準で決められており、一学級40人とされております。低学年については35人ということになってはいますが、それに対して教員が配置されるということになります。

町としてできることといたしましては、これは現在も行っているのですが、算数の力を伸ばすための少人数指導の先生や、相談員の先生方を増やすことができます。

いますぐ15人学級や20人学級というものをつくることは難しいのですが、そのようなかたちで学習の支援をしていただける先生を加えていくことは可能な状況となっております。

現在、子ども達が減っていく中で、統合することによって、そういった少人数指導の先生や相談員の先生方をさらに充実させていくことができると考えております。

35人学級や、それよりも少ない学級というものができれば、子ども達にとってもプラスになるのかもしれませんが、現段階でやれることをやっていければと考えております。

また、家の近くに学校があるのが一番だとは思いますが、そうはならない事情というものもございます。通学における安全

面に関しては、スクールバスを活用して、子ども達が安全に登下校できるような体制をつくっていただければと考えております。

○事務局 少人数になれば、それだけ活躍する場も増えるし、また、小さなグループによって学習することで理解も深まると、確かに学習の面、児童の活躍の面だけを考えれば小規模でもいいのではないかと思います。

では、文小学校のように5年後に小さくなりすぎた状態で、複式学級になってしまったらどうなるのかということ、担任の先生はひとりで、2つの学年が同じ教室に前と後ろに背中合わせに座り授業を行うようなかたちになります。これは果たして子どもにとってプラスになるのか。文小学校は、2学年を1学級にしなくてはならない未来が現実に見えています。その責任は、やはり教育委員会が先々を考えて、そうならないように学校づくりを手当していくのが良いのではないかと思います。

また、学校と言うのは世の中と同じであると考えます。小さな世の中が学校の中であって、そこにはいろいろな考え方を持ったお友達が沢山おり、その中で意見がぶつかったり、部活動と一緒に頑張ったり、そういった人間的な成長を学校の中でしていくのが、学校の使命であると考えております。

確かに、現在はコロナ禍という心配もございます。これは命を預かる者として、最大限の手当をしながら、大切な子どもの命、生活の安全というものを守っていかねばならないと考えております。

○参加者 文小学校が数年後に複式学級となることが前提の統合に納得がいかない。現在は日本全国で過疎の町や村があって、子ども達はその中で育っている。複式学級の教育を真っ向から否定しているように聞こえるし、複式学級になってもどのようにすればよいのか、それこそ1学級の人数を減らせば複式学級とする必要もないわけで、そのような条例をつくれればよいのではないかと。

○事務局 現在の少子高齢化の中で伸びている数字がいくつかあります。ひとつは不登校の数字です。それからもう一つは特別支援の子ども達が増えています。さらに、いじめを含む問題行動の件数が増えています。それも中学生よりも小学生の伸びが大きくなっています。そうすると、学校全体で子ども達を考えたときに、

誰々と仲が悪いという状況が、単学級のまますと6年間続くと逃げ場がありません。うまく人間関係がつかれない子どもも中にはいますので、できれば2学級でクラス替えがあった方が、緊急避難できる場があった方がいいのかなと思います。

○参加者 運動会やPTAなどの時に車で学校に行くことになると思うが、その際に駐車場は確保されているのか、またスクールバスはどのくらい出るのか。

○事務局 駐車場につきましては、学校の西側のプールの奥に拡張を予定しております。

スクールバスについては、今後、統合準備委員会というものを設置して、その中で具体的な台数や運行ルートなどについて検討することになりますが、統合検討委員会の中では、大型バスであれば6台、小型であれば15台程度という試算をしております。

○参加者 統合についてやむを得ないという意見が83%、布川小への統合についてやむを得ないという意見が69%とのことだが、統合は理解しているけれど、布川小への統合には難色を示していると見える。建物には耐用年数が定められているが、3年後に統合せずに、10年後、20年後という長い期間で住民が納得する土地、安全性のある土地で統合という話をすれば、より住民の理解を得られるのではないか。

○事務局 布川小学校でなくても良いのではないかとということですが、建物または校庭の広さ、さらに各小学校に統合した場合の予算規模、そういったことについて統合の検討委員会の方で9回ほど会議をしていただいて、答申において布川小学校が望ましいという結果になりました。町といたしましては、その答申を基にアンケートを実施し、またパブリックコメントを募集し、最終的に答申を尊重するに至りましたので、決して布川小ありきでこの話を進めていたわけではございませんし、十分検討していただいた結果であると認識しております。

○参加者 アンケートを見ると、やむを得ないやわからない、反対という意見が、良いという意見よりも圧倒的に多い。特にやむを得ないという意見を出した人たちの気持ちや不安をしっかりと考えて進めていただきたい。

○事務局 おっしゃる通り、やむを得ないという回答の中には、当然賛成の方もいらっしゃるでしょうし、布川小学校への統合は嫌だなという思いの中でのやむを得ない、という方も大勢いらっしゃると思います。そういった意見の方々がおられるという点も踏まえまして、令和5年4月という時期を目指して、皆様からより良い意見をいただいて、より良い学校をつくりたいという意味で、本日のような意見交換会を開かせていただき、皆様の意見をお聞かせいただいているところでございます。

決してすべての方が統合に賛成であるとは事務局としても考えておりませんので、その点を良く考えながら統合を進めてまいりたいと考えております。

6. 閉 会

○事務局 本日はお忙しい中、皆様にご出席いただき、貴重なご意見を伺うことができました。お寄せいただいたご意見、ご要望、ご提言は、今後の統合準備委員会等での課題として整理しながら、協議をしていきたいと思っております。また、今後も皆様のご協力のもと、より良い統合に向けて準備してまいります。

それでは、以上をもちまして、利根町小学校統合意見交換会を閉会いたします。(午後3時36分)